

第75回 “社会を明るくする運動”

高校生標語表彰式

受賞者の皆さま
おめでとうございます！

10月26日(日)、第75回“社会を明るくする運動”の一環として募集しました高校生標語の優秀作品表彰式が行われました。530名から応募があり、審査の結果、次の方々が入賞されました。おめでとうございます。



最優秀	小川 希 姫 (麻生高校)	「SNS 消えない言葉 残るきず」
優 秀	奥川 皐 輔 (潮来高校)	「リスペクト 相手におくる ほめことば」
優 秀	藤田 慶 也 (麻生高校)	「多様性 一人一人が 主人公」
優 良	齋藤 瑠 夏 (潮来高校)	「いじめはね “見て見ぬふり”も いじめだよ」
優 良	河野 朱 那 (潮来高校)	「支え合い みんなで作る 幸せの輪」
優 良	神野 結 愛 (麻生高校)	「悪いこと ちがうと言える その勇氣」
優 良	森 柚 稀 (潮来高校)	「あいさつで 広がる笑顔 地域の輪」
優 良	小沢 瑚々奈 (玉造工高)	「助け合い 誰かのために 差し出す手」

地域おこし協力隊通信

第78回

麗澤大学では1班が発表。『はまぐりで繋がるまちづくり』をテーマに、潮来市と周辺地域が連携した特産品開発について斬新な提案をしました。筑波大学では4班が発表。『チャリ通は命がけ』をテーマに、潮来市の交通について若者ならではの視点で提案しました。

どちらの班も堂々とした発表で、7月の事業開始時から大きな成長を感じました。投票応援いただいた皆様、この度は誠にありがとうございました。引き続き地域活性化に取り組みでまいりますので、ご協力よろしくお願ひします。

こんにちは、地域プロジェクトマネージャーの小林です。今回は潮来市高大連携事業に関して「麗澤大学地域連携シンポジウム2025」と「筑波大学高大連携シンポジウム2025」についてお話しします。

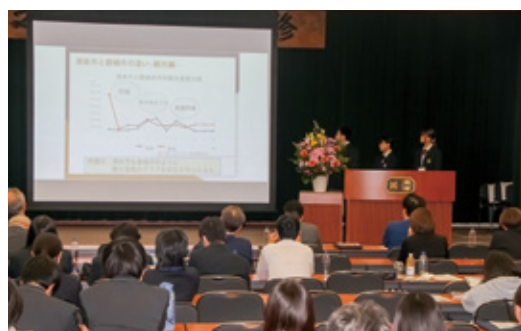
潮来市高大連携事業とは、潮来高校生の感性と大学生の知識ノウハウを結集し、地域の課題解決に向けた提案をする事業で、少子高齢化や人口減少といった課題への対応を目的に、令和2年度から続く取り組みです。高校生と大学生は、調査・議論を重ね、地域の魅力発掘と活性化策を提案します。今年度は、5つの班が提案動画をYouTubeで配信し、オンライン投票の結果、1班と4班が大学のシンポジウムで発表しました。



動画配信中



筑波大学で発表の様子(11月3日)



麗澤大学で発表の様子(11月2日)